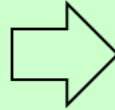


## 良質な水稻種子を安定的に確保する取組

～ 農事組合法人 胡四王みらい ～

### 経営体の概要

法人化前：平成25年度  
 基幹作物：水稻、小麦  
 経営面積：借地86ha、作業受託80ha



現在：令和2年度

基幹作物：水稻89.2ha(内種子81ha)、小麦56ha、  
 大豆20ha、ハトムギ33ha、  
 ミニトマト・ピーマン0.1ha、その他10ha  
 経営面積：自作地0.2ha、借地94ha、作業受託114ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

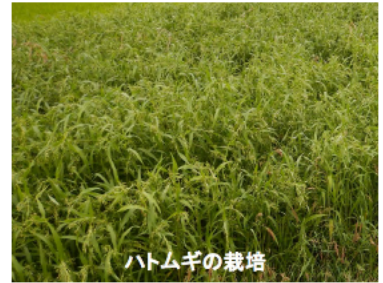
平成5年の大冷害を受けて、良質な水稻種子を安定的に確保しようと水稻種子生産組合を設立、本組合を母体として平成26年にはJAから借用していた種子乾燥施設の更新に併せ法人を設立した。その後、平成27年に地域の転作生産組合と合併し現在に至る。

法人の設立を契機に、国営事業による生産基盤を活用し、良質な水稻種子の安定生産と併せ、転作物である小麦、大豆、ハトムギなどの作業受託を拡大するほか、ミニトマトやピーマンの施設栽培を組み合わせた営農を実践している。

### 営農改善のポイント

#### ① 経営規模の拡大

国営事業により用水が安定的に供給されたことから、水管理作業の軽減が図られた水稻栽培が可能となった。法人化により水稻種子の生産を中心とし小麦、ハトムギなどの作業受託を80haから114haに拡大している。小麦を中心として大豆、ハトムギのブロックローテーションを行い、農地利用の効率化、集積・団地化を進めている。また、地域の人が作付けできない農地を引き受け、耕作放棄地防止に取り組んでいる。



ハトムギの栽培

#### ② 栽培技術の確立・向上

野菜では施設(ハウス)でのミニトマトの養液栽培やピーマンの自動かん水装置を導入し省力化及び安定生産に取り組んでいる。また、ドローンなどの新技術を導入し、適正な作業管理に努めている。生産技術の向上のため、役員や構成員の研修を行っている。



施設(ハウス)でのピーマン栽培

#### ③ 機械・施設の整備

法人では、粳の混入を防止するため、水稻種子の収穫に専用のコンバインを使用するとともに、法人所有の種子センターで乾燥調製を行い品質の向上に努めている。また、乾燥施設を効率的に利用するため、農業クラウドサービスにより刈取りの収量や張り込み量を考慮した刈取り作業面積を決定している。

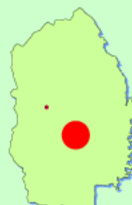


水稻種子専用のコンバイン

#### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
 関係市：北上市、花巻市  
 受益面積：2,504ha  
 事業期間：平成20年度～平成27年度  
 事業目的：用水改良  
 主要工事：取水施設1箇所、用水路5路線、用水管理施設

位置図(岩手県)



猿ヶ石川

<問い合わせ先>

東北農政局  
 農村振興部農地整備課  
 電話：022-263-1111  
 (内線4460)

(令和2年度調査時点)